

2017年度

ボディシンキング試験問題

BT - 3 (脚と軸)

注意事項

1. 試験時間は、**40分** です。
2. 筆記用具以外の持ち込みは不可です。
3. 試験官の指示により、試験の開始前にクラス、氏名、試験実施日を記入してください。
4. 問題は **7** ページあります。試験が開始されたら全てのページがあることを確認してください。
5. 解答は、解答欄に記入してください。解答群に○やレ点をつけて解答しても、無効になります。
6. 各問題は、指定のある場合を除き全問正解で1点です。部分点はありません。
7. 問題の指示と異なった解答は、不正解とみなされます。
8. 試験中に体調不良等が生じた場合には、試験官に申し出てください。

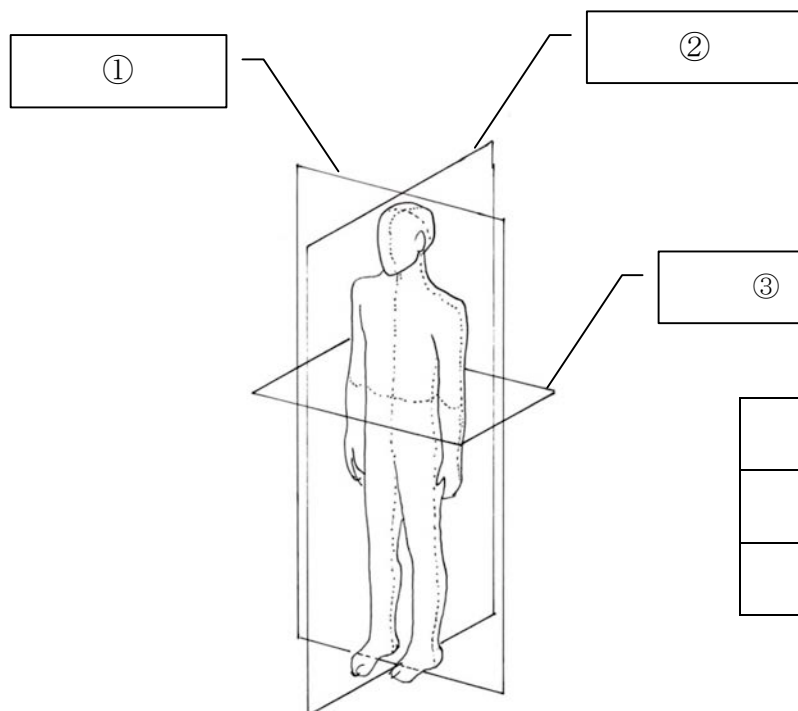
BODYCHANCE

ク ラ ス		氏 名	
-------------	--	------------	--

得 点
／ 20

試験実施日 2018年 月 日

【問題 1】 人体の三つの動きの平面について、それぞれの面の正式名称を解答欄に書きなさい。(1点)



①	前額面(冠状面、前頭面)
②	(正中)矢状面
③	水平面

【問題 2】 上記の動きの平面でおこる、股関節で起こる動きの名称を、解答欄に書きなさい。対になる名称を両方書くこと。(1点)

問題 1-図の番号	動きの名称
①	外転、内転
②	屈曲、伸展
③	内旋、外旋

【問題 3】 次の股関節の動きについての説明で、間違っているものを一つ選び記号で答えなさい。(1点)

- ア. 大腿骨が固定されているとき、上前腸骨棘が前方へ動くと、これは屈曲である。
- イ. 股関節での大腿骨の屈曲は、膝を伸展したときに可動域が大きくなる。
- ウ. 股関節の屈曲は受動運動の方が自動運動より可動域が大きい。→教科書 p194
- エ. 股関節での大腿骨の伸展は、腰椎の前湾が増加すると、伸展角度が増える。

イ

【問題4】 下の図の姿勢から、解剖学的正位に戻るとき、股関節で何をする必要があるか、動きの名称でそれぞれ答えなさい。(1点)



股関節で外転と、をして、ほんの少し伸展をする必要がある。

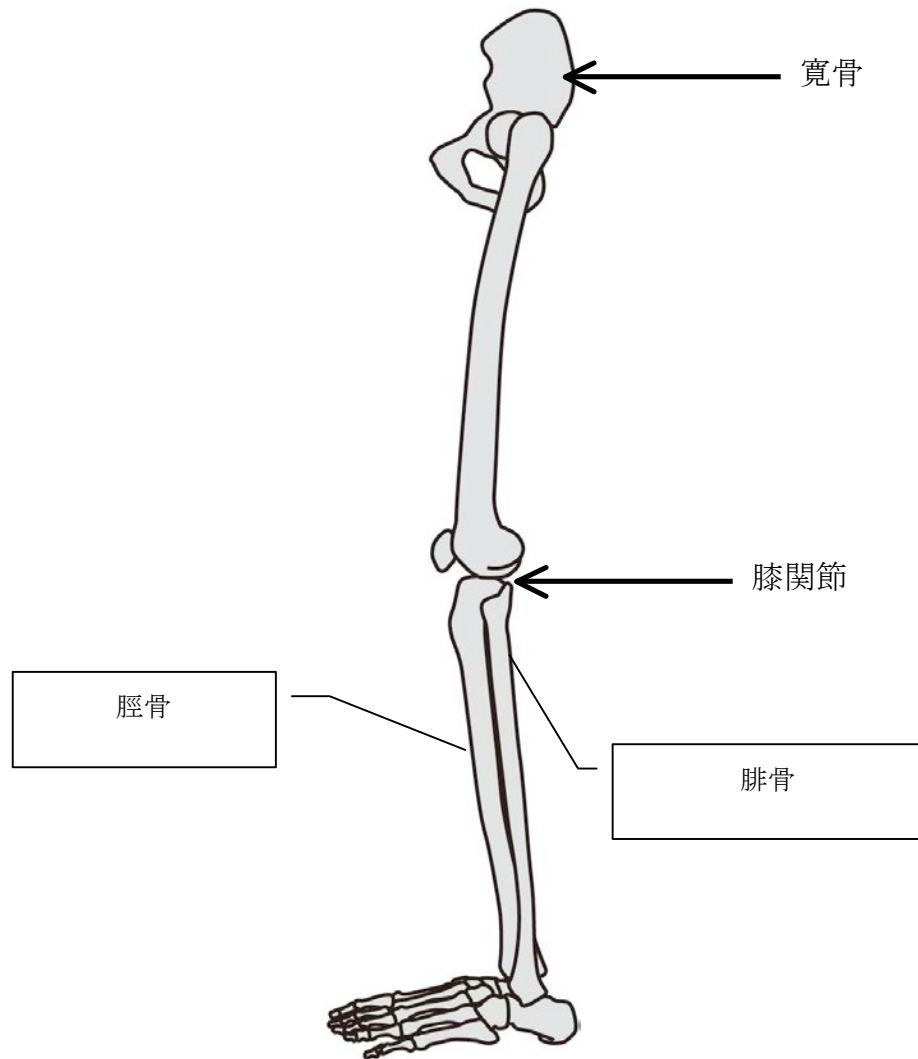


股関節でを、する必要がある。

【問題5】 次の大腿骨の説明で、間違っているものを一つ選び記号で答えなさい。(1点)

- ア. 大腿骨幹の断面図は、ほぼ三角形をしている。
- イ. 小転子は大腿骨の内側にある。
- ウ. 大腿骨頭は球形で、大転子の真上にある。
- エ. 大腿骨は全体でゆるくカーブしている。

【問題6】①下の図の空欄に入る名称を書きなさい（1点）



【問題7】寛骨を構成する3つの骨を下の語群から選んで解答欄に書きなさい。（1点）

鎖骨 坐骨 尾骨 仙骨 腸骨 恥骨

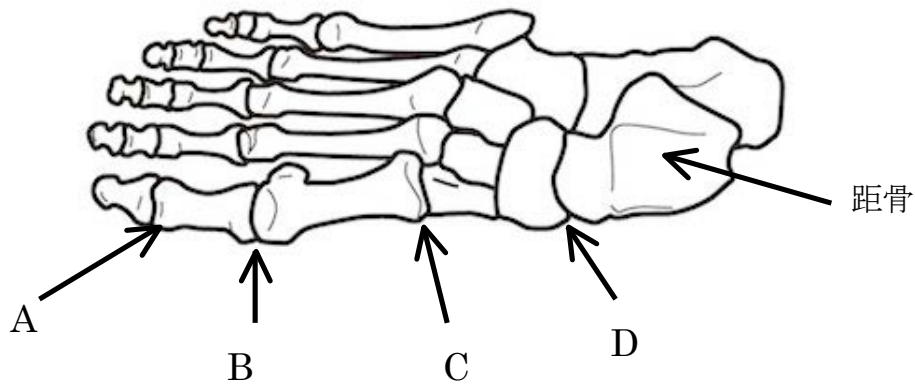
坐骨、腸骨、恥骨

【問題8】下の膝関節の説明で、間違っているものを一つ選び記号で答えなさい。（1点）

- ア. 膝関節には半月板がある。半月板は軟骨で出来ている。
- イ. 膝関節では、屈曲伸展だけでなく、わずかに回旋もできる。
- ウ. 膝関節には、十字靭帯、側副靭帯などが付いている。
- エ. 膝関節は、大腿骨、膝蓋骨、腓骨で構成されている。

エ

【問題 9】 下の図に示されている関節名を正しく表しているのは次のうちのどれか。
(1 点)



- ア、 A 趾節間関節 B 中足趾節関節 C 足根中足関節 D 横足根関節
- イ、 A 中足趾節関節 B 足根中足関節 C 中足趾節関節 D 横足根関節
- ウ、 A 趾節間関節 B 横足根関節 C 足根中足関節 D 足根中足関節
- エ、 A 中足趾節関節 B 趾節間関節 C 横足根関節 D 足根中足関節

ア

【問題 10】 距骨と下腿が作る関節では、屈曲と伸展しかできない。このような関節を、その形状から何関節と呼ぶか。語群から当てはまる言葉を選んで、解答欄に書きなさい。
(1 点)

球関節 橈円関節 蝶番関節
鞍関節 車軸関節

蝶番関節

【問題 11】 足根骨でないものは、次のうちどれか。記号を書きなさい。(1 点)

- ア. 舟状骨
- イ. 立方骨
- ウ. 中足骨
- エ. 内側楔状骨

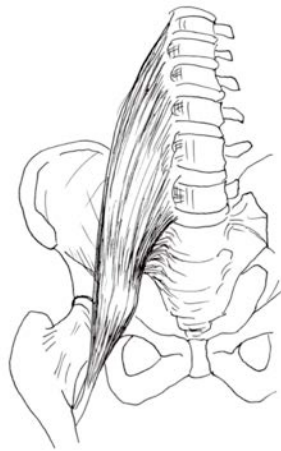
ウ

【問題 1 2】 下の図に表している筋肉の名前と、それぞれの関節での主な作用を書きなさい。(一筋肉で一点)

①



②



③



①

筋肉の名前	中臀筋 (中殿筋)
股関節での主な作用	外転

← 【参考】 前部繊維：屈曲、内旋
後部繊維：伸展、外旋

②

筋肉の名前	大腰筋
股関節での主な作用	屈曲 (外旋も少し)

③

筋肉の名前	
足関節での主な作用	屈曲 (底屈)

【問題 1 3】 大腿四頭筋の説明で、間違っているものを一つ選び記号で答えなさい。(1点)

- ア. 大腿直筋、外側広筋、内側広筋、中間広筋から構成される。
- イ. 膝関節を屈曲すると、外側広筋、内側広筋は脛骨の回旋に関与する。
- ウ. 四つの筋すべてが作用すると、膝関節の屈曲を起こす。
- エ. 大腿直筋のみが二関節筋である。

ウ

【問題 1 4】 ハムストリングスについての説明で、間違っているものを一つ選び記号で答えなさい。(1点)

- ア. ハムストリングスに大腿二頭筋が含まれる。
- イ. 半膜様筋は、大腿骨から起始する。
- ウ. 主な作用は股関節の伸展と膝関節の屈曲である。
- エ. 脛骨に停止する筋と、腓骨に停止する筋がある。

イ

【問題 1 5】下の図を説明している文章で、正しい方の記号を解答欄に書きなさい。(1 点)



- ①この筋肉は、足の ア、外在筋 イ、内在筋 である。
- ②この筋肉の作用は、足関節（距腿関節）の
ア、屈曲 イ、伸展 である。
- ③この筋肉と同様の働きをするのは、
ア、長腓骨筋 イ、長趾伸筋 である。

①	ア
②	イ
③	イ

【問題 1 6】次の足の構造についての説明で、間違っているものを一つ選び記号で答えなさい。(1 点)

- ア. 足には内側足弓（アーチ）、外側足弓（アーチ）、横足弓（アーチ）の 3 つの足弓がある。
- イ. 内側足弓（アーチ）の方が、外側足弓（アーチ）よりもアーチの高さが低い。
- ウ. 足のアーチは体重を支える負担を少なくする。
- エ. 距骨下関節は、靭帯で支えられているので、関節ではあるがほとんど動かない。

この問題は不適切な問いでした。
イも、エも間違いですので、解答として
はどちらも正解です。

イ、エ

【問題 17】 下の図を見て以下の質問に答えなさい。



①この動作のために、脊椎がどのような動きをする必要があるか書きなさい。(1点)

【解答例】

- * 右脚を外転しているように見えるので、脊椎(特に腰椎)はその外転を補助するように、側屈をする必要がある。
- * 脊椎が脚の動作を補助する方向に動く必要がある。
- * 股関節が大きく動けるように、脊椎が柔軟性を保っている必要がある。
- * 片足でバランスをとっているため、脊椎がバランスをとるための微妙な動きをする必要がある。

②この動作を行う為に役に立つBT情報には何があるか書きなさい。いくつでも可。(1点)

【解答例(上肢についての記述も可能ですが、ここでは体幹と下肢のみ記載)】

- * 股関節のマッピング。 * 股関節外転を起こす筋肉の、名前とその位置。膝関節を保持するための筋肉。名前とその位置
- * 大きく外転をするために、股関節で外旋をする必要がある。
- * 脊椎の役割。脊椎も外転のために動く必要がある。特に腰椎。
- * 大きく外転しているため、骨盤も動いている。坐骨の向きが両脚の真ん中にある。
- * 足関節(距腿関節)のマッピング。
- * リーディングエッジについて。
- * 全体の動きに対する頭蓋骨と脊椎間の関節の役割について。
- * 膝関節での体重のかかり方。膝蓋骨には体重はかからない。
- * 距骨の役割。この場合、距骨が脛骨と中足骨との間で、通常よりも前側に出て行くことで安定する。。。。等々